

まちの タカラ

自然を学び、地域を知る ～わんぱくクラブ自然体験学習～



▲透視度計で中海の水の濁り具合を確認する子どもたちと板倉さん(右上)。
◀松江市本庄町の水辺で行われた、子どもたちによる水質調査の様子。

中海に面し、海岸沿いに島田干拓地が広がる島田地区で活発に活動している「わんぱくクラブ」。子どもは地域の宝”として、子どもたちが自然体験できる機会をもっと増やすべきであるという考えからクラブを立ち上げました。

わんぱくクラブは島田小学校の児童を対象に年度初めにメンバーを募集し、月に1回ほどの頻度で活動しています。干拓地にやってくる野鳥の観察や、中海周辺に生えている植物を利用した工作など、地域の自然を生かした学習が多くあり、現在は30人ほどが登録しています。

令和4年度2回目の学習となった「島田干拓地を通してラムサール条約を学ぶ」では、三瓶自然館サヒメルの板倉宏文元館長が講師となり、島田干拓地をはじめ中海の歴史や環境を、バスで実際に現地を訪れ解説。島田地区に移住してきた保護者も多く、子どもと共に学ぶ場となりました。

板倉さんは「自然学習から自らの住む地域を知ることにもつながる。ただの勉強ではなく楽しく学べることが大切」と、わんぱくクラブを主宰する島田交流センターの加藤喬館長は「大人が手伝いがちになると子ども主体の学習にならず意味がない。支援者のスキルアップの講習会をするなど、意義のある活動となるよう心がけている」と自然体験学習への思いを語りました。

編集後記

▼月の輪神事とまつりの花火を撮影しました。港では花火を撮る絶好のスポットはすでに満員でしたが、広報のためということで、特別に本部の横にお邪魔して遮るものなく撮影させてもらいました。今後も、そんな広報担当だからこそ見られるもの、行くことができる場所から情報発信していきたいと思えます。(右)

▼カキやブドウやクリにサツマイモ…。食欲の秋の到来です。皆さんは秋を感じる食べ物といえば何を思い浮かべますか。安来といえば県内生産量1位を誇る二十世紀梨もその一つではないでしょうか。市特産の二十世紀梨を皮切りに秋の味覚を楽しみたいと思いますが、体重の増加が気になるところです。(一)

安来市の人口と世帯数 R4.8.31現在

人口合計 / 36,603人
(男:17,597人 女:19,006人)
世帯数 / 14,285世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。